

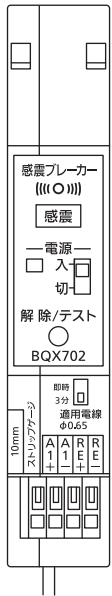
Panasonic®

保管用

感震ブレーカー

品番:BQX 702

施工説明書



- 施工前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工は電気工事士の有資格者が行ってください。
- この商品は当社製住宅分電盤専用です。他社製住宅分電盤には取付けないでください。
- 施工後は下のお問い合わせ先の欄に連絡先などをご記入のうえ、この説明書を必ず取扱者様に、お渡しください。

8A3 S08 00009
0217-80426

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック エレクトリックワークス株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お問い合わせ先

施工会社

電話 () -

パナソニック エレクトリックワークス株式会社
パナソニック スイッチギアシステムズ株式会社
〒571-8686 大阪府門真市門真 1048 番地
電設資材商品ご相談窓口 個人のお客様 ☎ 0120-878-082 FAX ☎ 0120-872-460
法人のお客様 ☎ 0120-187-431

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2026

安全上のご注意

警告

- 施工・点検時には感震ブレーカー電源スイッチ・主幹漏電ブレーカおよび上位遮断器を必ずOFFにする電源が供給されたままの施工は感電の原因になります。
- 分解や改造をしない
感電・故障の原因になります。
- 強い衝撃を与えない
本製品は精密機器です。落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えると故障の原因になります。
- 弱电回路や端子間の絶縁抵抗測定はしない
機器の故障による感電・発熱・発火の原因になります。

注意

- 速結端子への接続は、適正な電線を奥まで確実に差込む
不適正な電線の使用や差込みが不十分な場合、発熱・発火・誤動作の原因になります。

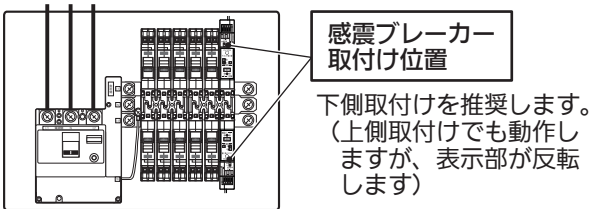
～施工上のご注意～

- 感震ブレーカーを取付ける前に、住宅分電盤の傾きが5°以内であることを確認してください。
- この商品は主幹ブレーカが漏電ブレーカではない場合、強制遮断機能が動作しません。(高速形30 mA感度専用)必ず漏電ブレーカとセットでご使用ください。
※ソルダーレス端子のブレーカ(型など)には接続できません。
- 擬似漏電出力線のコネクタは確実に接続してください。接続が不十分な場合、正常に動作しません。
- 施工が終わったら必ず「取付け方向設定」「施工後の動作確認」を行ってください。(下記参照)

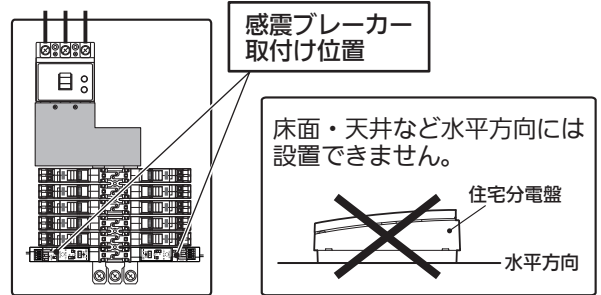
施工時の取付け位置・方向

下図を参考に適切な位置に設置してください。

横形住宅分電盤の場合



縦形住宅分電盤の場合

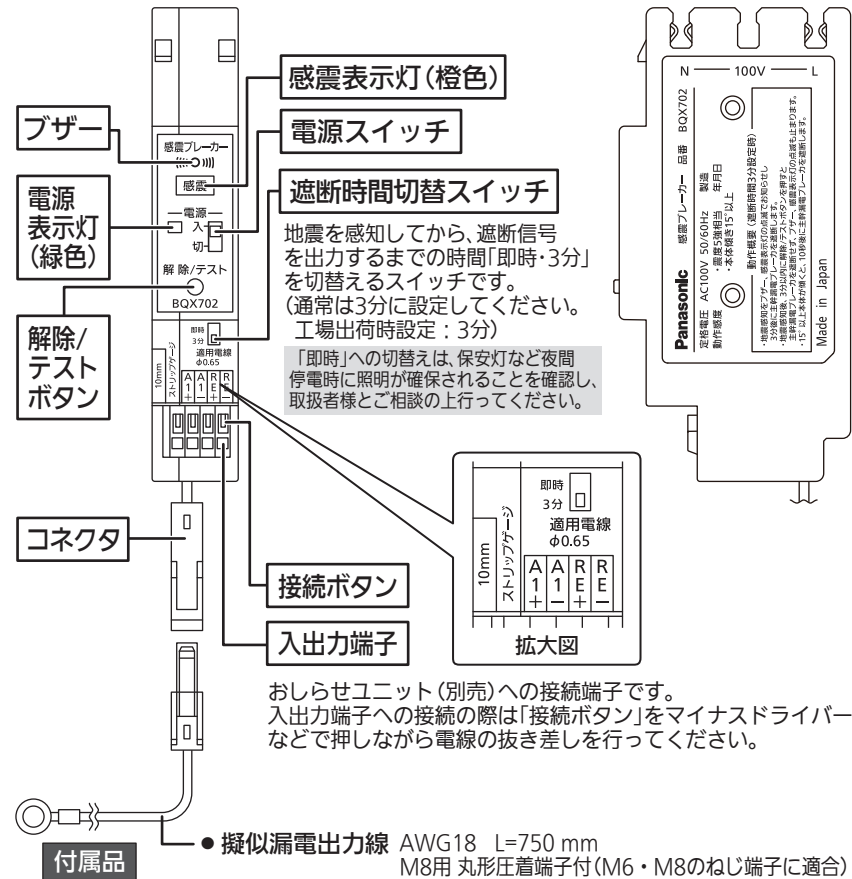


【必ず実施】取付け方向設定

住宅分電盤の設置、設置済み住宅分電盤への感震ブレーカーの取付け、通电後の住宅分電盤移設など、施工が終わったら取付け方向設定を必ず実施してください。取付け方向が正しく設定されないと誤動作で主幹漏電ブレーカが遮断されます。

- 感震ブレーカーの解除/テストボタンを押しながら主幹漏電ブレーカをONにしてください。電源表示灯が点灯してから3～6秒の間に解除/テストボタンを離してください。ピーッ、ピーッとブザーが2回鳴れば取付け方向設定は完了です。

各部のなまえ

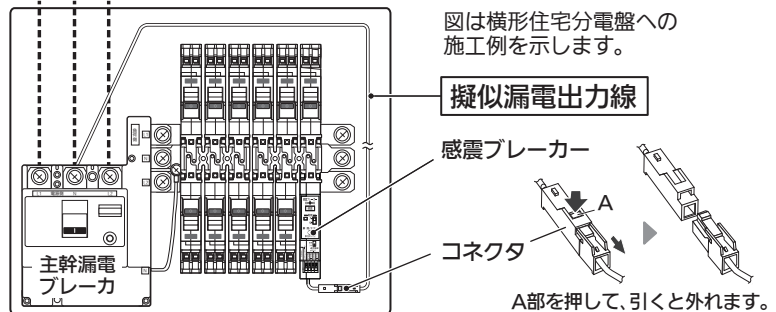


- 擬似漏電出力線 AWG18 L=750 mm M8用 丸形圧着端子付(M6・M8のねじ端子に適合)
- 施工・取扱説明書(本書)
- シール(必ず指定の位置に貼付けてください)
 - ・「感震ブレーカー搭載住宅分電盤」シール
 - ・お問い合わせ先シール
 - ・動作説明シール

配線のしかた

住宅分電盤内の配線のしかた

下図を参考の上、擬似漏電出力線のコネクタを感震ブレーカーのコネクタに確実に接続してください。また、丸端子を主幹漏電ブレーカの一次側(N相)に接続してください。(配線後、感震ブレーカーの電源スイッチの「入」を確認してください)



注) 感震ブレーカーを交換する際は主幹漏電ブレーカを「切」にし、コネクタを外し、感震ブレーカーを外してください。(右上図参照)
新しい感震ブレーカーを取付け(右上図参照)、擬似漏電出力線のコネクタを確実に接続してから「取付け方向設定」・「施工後の動作確認」をしてください。

おしらせユニット(別売)BQX710との配線のしかた

入出力端子(A1+-・RE+-)をおしらせユニットの端子とそれぞれ接続ください。(適用電線: AE線またはCPEV線 φ0.65 配線長最大20 m)
※ 詳細はおしらせユニットの施工・取扱説明書をご参照ください。

施工後の動作確認

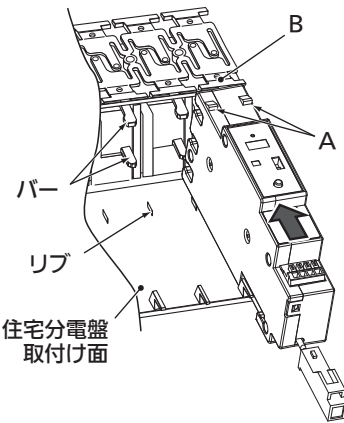
- 主幹漏電ブレーカのONを確認後、感震ブレーカーの解除/テストボタンを2秒以上押し、動作確認をしてください。

ピーーと1秒間ブザーが鳴り、感震表示灯が点灯し、主幹漏電ブレーカが遮断することを確認してください。(停電します)

住宅分電盤への取付け・取外し

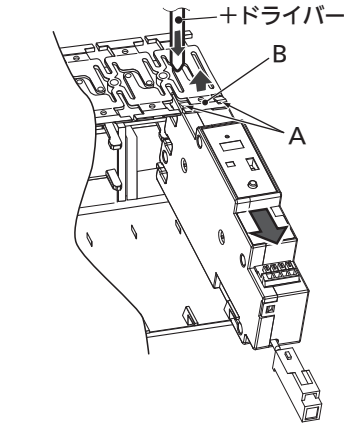
取付け

- 住宅分電盤取付け面のリブに商品を合わせ、バーに対して水平に奥まで差込んでください。(B部が商品のA部を乗り越えるまで差込む)



取外し

- 図の位置を＋ドライバーで押してください。(B部が商品のA部を開放するまで押し込む)その状態で商品を水平に引き外してください。



仕 様

品 番	BQX702
定格電圧	AC 100 V (50/60 Hz)
消費電力	1 W以下(通常時)・2 W以下(ブザー鳴動時)
適応相線式	単相3線式(1φ3W)・単相2線式(1φ2W)
適応主幹ブレーカ	漏電ブレーカ 高速形 30 mA感度専用 ※ ソルダーレス端子のブレーカ(型など)は接続不可
入出力端子仕様	適用電線 AEまたはCPEV線 φ0.65 配線長 最大20 m
感震動作機能	地震感知 震度5強相当にて地震感知 250 gal 周期0.3秒・0.5秒・0.7秒にて動作 250 gal 周期0.1秒 および 80 gal 周期0.3秒・0.5秒・0.7秒にて不動作 ※ 停電後8秒間は地震感知機能を保持
	地震感知時の報知機能 感震表示灯(橙色)の点滅およびブザーの鳴動(約60 dB)にて報知 ※ 別売のおしらせユニット接続時には、同ユニットへ音声報知用信号を出力
	主幹漏電ブレーカの自動遮断・解除機能 ● 地震感知から設定時間後に主幹漏電ブレーカを遮断する信号を出力(ボタン操作にて解除可能) ● 地震感知から設定時間以内に停電が発生した場合、復電時主幹漏電ブレーカを2秒以内に遮断する信号を出力
	傾き感知動作機能 本体が15°傾くと、10秒後に主幹漏電ブレーカを遮断する信号を出力 ※ 10秒以内に停電したときは復電時遮断
テスト機能	解除/テストボタン操作による各動作テスト ● 短押し時(約2秒未満): 地震感知時の動作と同一の動作 ● 長押し時(約2秒以上): すぐに主幹漏電ブレーカ遮断信号を出力
	交換時期お知らせ機能 設置後の初回通电から本体への通電時間が約10年経過後、電源表示灯(緑色)の点滅とブザー鳴動(ビピッ、ビピッ音 約50 dB)で交換時期を通知 ※ ブザー鳴動は1回につき3分間継続 ● ブザー鳴動中に、解除/テストボタン押下した場合 鳴動停止<電源表示灯(緑色)の点滅は継続> 停止後、約1ヵ月後にブザーが再鳴動。ブザー鳴動中に、解除/テストボタン押下するとブザー鳴動が停止し、その後の鳴動なし ● ブザー鳴動中に、解除/テストボタン押下しない場合 約23時間後に再鳴動<電源表示灯(緑色)の点滅は継続> ブザー鳴動中に、解除/テストボタン押下しない限り約23時間ごとに繰り返し鳴動
部品異常お知らせ機能	定期的に内部電子部品の状態を監視し、異常がある場合、電源表示灯(緑色)・感震表示灯(橙色)の点滅とブザー鳴動(約50 dB)(ビッ、ビッ音)により本体の交換を通知

取扱説明書

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に必ずこの説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
- その後いつでもご覧になれる所に必ず保管してください。

安全上のご注意



警告



- **住宅分電盤のカバーを開けない**
感電する場合があります。



注意



- **点検・修理は施工店または電気工事業者（電気工士有資格者）へ依頼する（この説明書を提示する）**
不良工事は感電や火災の原因になります。

特長と使用上のご注意

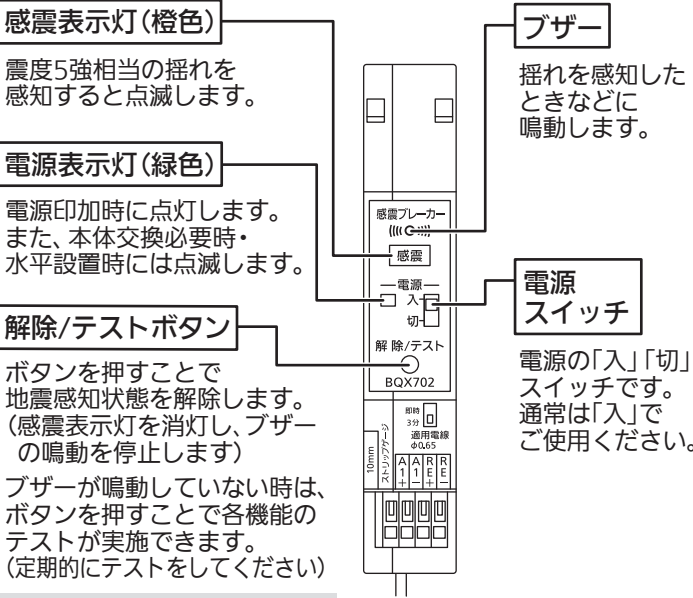
特 長

- 震度5強相当の揺れを感知すると、感震表示灯の点滅とブザーの鳴動でお知らせします。（地震感知状態）
- 揺れの発生から設定時間（3分または即時）経過後に、主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。また、設定時間が経過する前に停電が発生したときは、復電による避難中の電気火災発生を防ぐため、復電後即時に主幹漏電ブレーカを遮断します。
- 住宅分電盤が15°傾くと家屋倒壊と判断し、10秒後に主幹漏電ブレーカを自動的に遮断します。10秒以内に停電した時は、復電後即時に主幹漏電ブレーカを遮断します。
- 日本配線システム工業会規格（JWDS0007付2）適合

使用上のご注意

- 本商品は震度5強相当の揺れを感知しますが、地震の揺れ方や家屋の構造などにより感知しないことがあります。また、震度5強未満の揺れでも感知することがあります。
- 地震未発生時にブザーが鳴動した場合、本商品の交換時期となった、または電子部品が劣化している可能性があります。電源表示灯が点滅している場合、正常に地震感知しないおそれがあります。「故障かな?と思ったとき」をご参照いただき、すみやかに施工店または電気工事業者（電気工士有資格者）へ交換を依頼してください。
- 本商品交換時には、施工店または電気工事業者（電気工士有資格者）により停電を伴う作業が必要です。
- 感震ブレーカーを廃却するときは、産業廃棄物として関連する法律に従って適切な処分をしてください。

各部のなまえと機能



ボタンを押すことで地震感知状態を解除します。（感震表示灯を消灯し、ブザーの鳴動を停止します）
ブザーが鳴動していない時は、ボタンを押すことで各機能のテストが実施できます。（定期的にテストをしてください）

住宅分電盤設置時の見え方

住宅分電盤設置時は、右図に示すように操作表示部のみ露出しております。



横形住宅分電盤下段での例

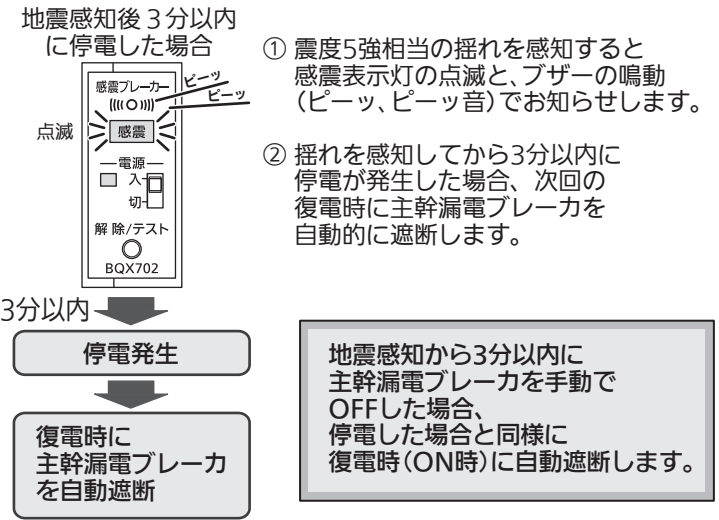
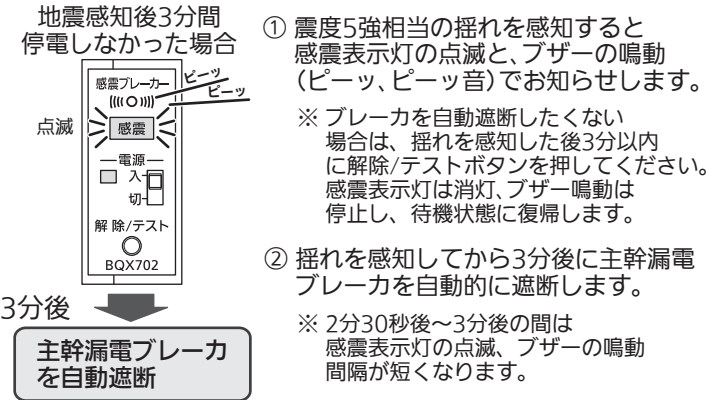
動作説明

機能／状態	遮断時間 切替スイッチ （※）	動 作	感震表示灯	ブザー	解除/テストボタン
地震感知	3 分	感震表示灯の点滅とブザー鳴動でお知らせし、3分後に主幹漏電ブレーカを遮断	点滅 ※残り30秒で 間隔が短くなる	ピーツ、ピーツ ※残り30秒で 間隔が短くなる	感震表示灯の点滅とブザー鳴動を停止し、主幹漏電ブレーカ遮断を中止
	即 時	感震表示灯の点灯とブザー鳴動でお知らせし、1秒後に主幹漏電ブレーカを遮断	1秒間点灯	ピーー 1秒間鳴動	反応しません （主幹漏電ブレーカの遮断を中断できません）
傾き感知	3 分 即 時	感震表示灯の点滅とブザー鳴動でお知らせし、10秒後に主幹漏電ブレーカを遮断	点滅 ※残り5秒で 間隔が短くなる	ピーツ、ピーツ ※残り5秒で 間隔が短くなる	反応しません （主幹漏電ブレーカの遮断を中断できません）
	3 分 即 時	感震表示灯の点滅とブザー鳴動でお知らせし、3分後に主幹漏電ブレーカを遮断	点滅 ※残り30秒で 間隔が短くなる	ピーツ、ピーツ ※残り30秒で 間隔が短くなる	感震表示灯の点滅とブザー鳴動を停止し、主幹漏電ブレーカ遮断を中止
テスト （解除/テストボタン 押し時間約2秒未満）	3 分 即 時	感震表示灯の点滅とブザー鳴動でお知らせし、3分後に主幹漏電ブレーカを遮断	点滅 ※残り30秒で 間隔が短くなる	ピーツ、ピーツ ※残り30秒で 間隔が短くなる	反応しません （主幹漏電ブレーカの遮断を中断できません）
テスト （解除/テストボタン 押し時間約2秒以上）	3 分 即 時	感震表示灯の点灯とブザー鳴動でお知らせし、1秒後に主幹漏電ブレーカを遮断	1秒間点灯	ピーー 1秒間鳴動	反応しません （主幹漏電ブレーカの遮断を中断できません）
停電後 8秒間の地震感知	3 分 即 時	復電後即時に主幹漏電ブレーカを遮断	（停電時） 消 灯	（停電時） 無 音	反応しません （主幹漏電ブレーカの遮断を中断できません）
地震感知/傾き感知し、 主幹漏電ブレーカが 遮断する前に停電	3 分 即 時	復電後即時に主幹漏電ブレーカを遮断	（停電時） 消 灯	（停電時） 無 音	反応しません （主幹漏電ブレーカの遮断を中断できません）

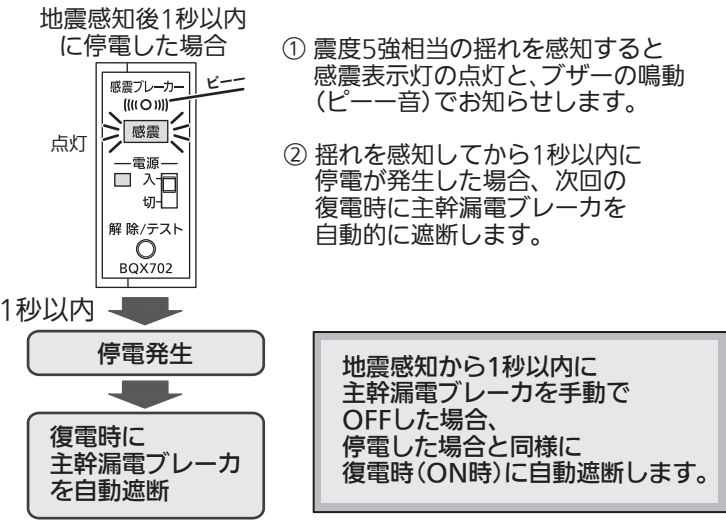
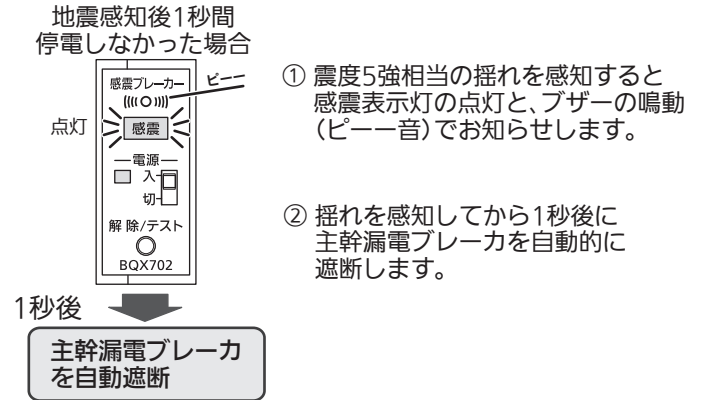
※ 遮断時間切替スイッチは工場出荷時「3分」に設定されています。
「即時」にされたい場合は、施工店または電気工事業者（電気工士有資格者）にご依頼ください。

操作のしかた・動作の説明

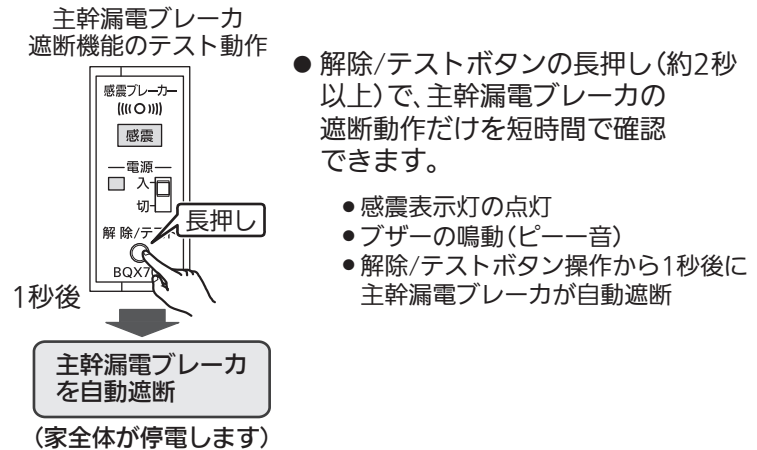
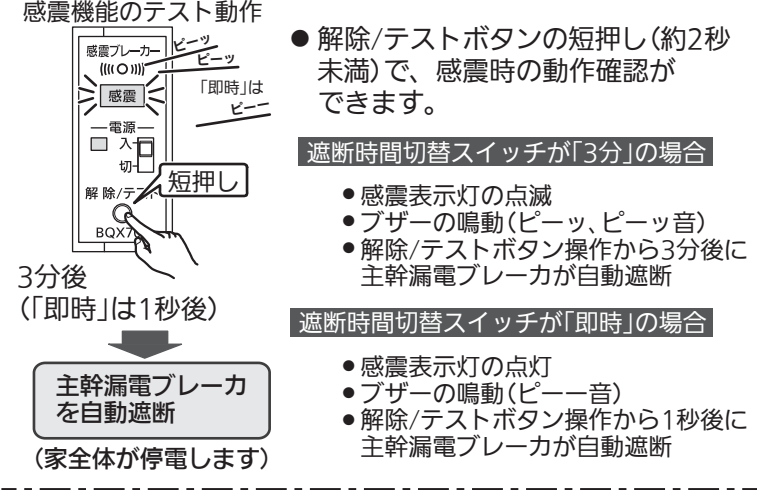
感震時の動作《遮断時間切替スイッチが「3分」の場合》



感震時の動作《遮断時間切替スイッチが「即時」の場合》



感震動作していないときの「解除/テストボタン」押下時の動作（テスト動作）



故障かな？と思ったとき

現 象	原 因 と 処 置
地震でもないのに感震時の動作となる。（感震表示灯点滅・ブザー鳴動）	● 故障の可能性があります。電源スイッチを「切」にして、施工店または電気工事業者（電気工士有資格者）へ点検を依頼してください。
電源表示灯が点灯しない。	● 感震ブレーカーの電源スイッチが「切」になっていませんか？電源スイッチを「入」にしてください。
電源表示灯が点滅し、ブザーが鳴動する。（ピピツ、ピピツ音）	● 感震ブレーカーの交換時期（約10年）をお知らせしています。解除/テストボタンを押してブザーを停止し、施工店または電気工事業者（電気工士有資格者）へ感震ブレーカーの交換を依頼してください。 ※ 交換時期を過ぎると、正常に地震感知しない場合があります。 ブザー鳴動は1回につき3分間継続します。 【ブザー鳴動中に、解除/テストボタンを押した場合】鳴動停止します。（電源表示灯の点滅は継続） 停止後、約1ヵ月後にブザーが再鳴動します。 ブザー鳴動中に、解除/テストボタンを押すとブザー鳴動が停止し、その後は鳴動しません。 【ブザー鳴動中に、解除/テストボタンを押さない場合】約23時間後に再鳴動します。（電源表示灯の点滅は継続） ブザー鳴動中に、解除/テストボタンを押さない限り約23時間ごとに繰り返し鳴動します。
電源表示灯と感震表示灯が点滅し、ブザーが鳴動する。（ピツ、ピツ音）	● 内部の電子部品が劣化し、感震ブレーカーが正常動作しない状態です。電源スイッチを「切」にして、施工店または電気工事業者（電気工士有資格者）へ感震ブレーカーの交換を依頼してください。
頻繁に主幹漏電ブレーカがOFFになる。	● 取付け方向認識エラーの可能性があります。取付け方向を再確認してください。確認のしかたは施工説明書（裏面）を参照してください。

※ 以上のことをお調べになっても、なお異常のある時は電源スイッチを「切」にして施工店または電気工事業者（電気工士有資格者）にご連絡ください。（電源スイッチを「切」にすると、すべての機能が停止します）